

広報

7月の

8

平成15年 NO.595

### 川遊びを満喫―

自然豊かな板井原川で、子どもたちは魚を見つけたり水をかけあつたりと大はしゃぎ。「水がとてもきれいだね」と川遊びを楽しんでいました。





# 56人が決意新たに

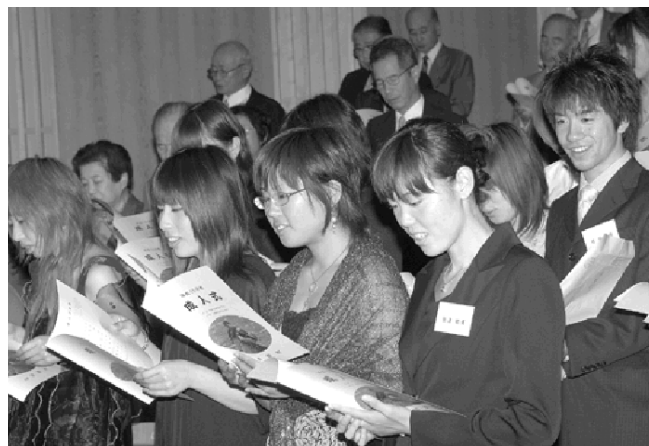
「大人の仲間入り」を祝う成人式を8月15日、町文化センターで開きました。今回成人を迎えたのは、昭和58年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた56人（男30人、女26人）で、そのうち、46人（写真）が出席しました。

町長、来賓の激励を受けたあと、新成人を代表して矢田貝亮一さん（上菅）、小谷花生さん（根雨）、石田圭太さん（安原）の3人が「責任と自覚を持ち、社会の一員として胸を張れるようがんばります」と決意を述べました。

# 20歳 成人式



りの再会に話もはずむ



全員で町民憲章を朗読



## 人と人とのふれあいが好き



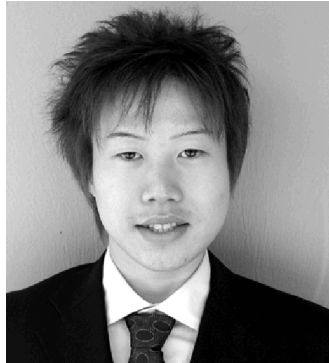
檀田公子さん（金持）

日野病院で事務をして働いています。都会へのあこがれはありましたが、人と人とのふれあいや時間がゆつくりしているのが好きで地元に残りました。しかし、町内に残っている友達が少ないので寂しい面もあります。

成人式を迎え、自分の考えや責任を持って行動したいです。日野町はこのままでいいと思いません。恵まれた環境を大切にしたいです。

## 新成人インタビュー

### 何でも新しいことに挑戦



谷本佑樹さん（野田）

大阪の大学に通っています。今は、新しいことに何でも挑戦し、たくさん知識と人生の選択肢の幅を広げていきたいです。成人になったからというわけではなく、「自分が幸せになれるように自分がしたいことを妥協しないでやる」という気持ちで大切にしたいです。日野町に帰ってくと自然がいっぱいだととても心が和みます。

成人になったからというわけではなく、「自分が幸せになれるように自分がしたいことを妥協しないでやる」という気持ちで大切にしたいです。日野町に帰ってくと自然がいっぱいだととても心が和みます。



新成人を代表して決意を述べる小谷さん



「みんな変わらないね」久しぶり

## 若者たちは今

### 成人アンケート

成人56人のうち成人式出席者46人に「大人の仲間入り」にあたり、抱負などの意見を聞きました。

回答があつたのは43人（回答率93・5％）。職業は学生が27人（62・8％）、会社員が15人（34・9％）の順でその他は1人でした。

将来は看護師になりたい

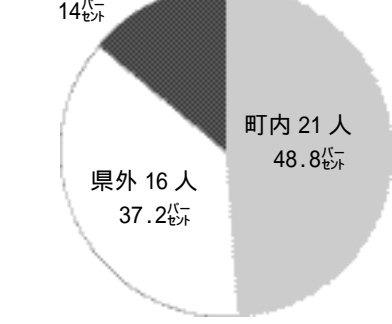


安達絵美さん（根雨）

今は静岡で看護について学んでいます。将来は、今学んでいることが生かせるよう看護師になりたいです。まだ学生なので学問と始めたバドミントンを両立させがんだりしたいです。久しぶりに仲間と出会い、変わらない笑顔でうれしかったです。

町に子どもから大人まで楽しめるスポーツ施設ができれば、もっと交流の輪が広がり活気が出ると思います。

現在の住所は



現在の住所を聞いてみると、町内が21人（48・8パーセント）、県外が16人（37・2パーセント）、町外の県内在住者は6人（14パーセント）でした。

町内に  
住んでいる人49人

将来は日野町に住みたいと思う37人

「郡内の求人、建設業や医療社会福祉などのサービス業が中心となっていますが、そこで郡内の求人や就職状況はどうなっているのか米子公共職業安定所根雨出張所に話を聞いてみました。」

「郡内の求人は、建設業や医療社会福祉などのサービス業が中心となっていますが、そこで郡内の求人や就職状況はどうなっているのか米子公共職業安定所根雨出張所に話を聞いてみました。」

「郡内の求人は、建設業や医療社会福祉などのサービス業が中心となっていますが、そこで郡内の求人や就職状況はどうなっているのか米子公共職業安定所根雨出張所に話を聞いてみました。」

新成人インタビュー

母に感謝、頼られるように

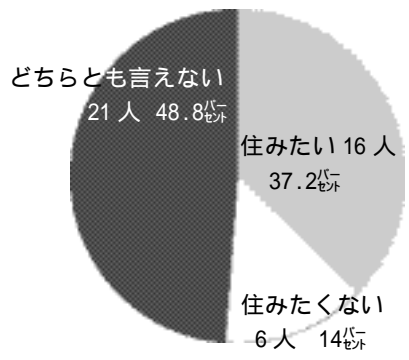


田代高浩さん（黒坂）

鳥取市の養護学校で事務をしています。今年から勤めるようになり、仕事にもようやく慣れました。学生時代には母に迷惑ばかりかけていたので、社会人になったからには頼られるようになりたいです。ここまで育ててもらって感謝しています。

好きな言葉は「臥薪嘗胆」。自分の目標を達成するために、どんな困難にも負けないで進んでいきたいです。

将来日野町に住みたいか



雇用状況は極めて厳しいことになり変わりありません。若者はより好条件の職場を求め、県外に出てしまいます。職種を選ばなければ仕事はあるのですが、との話です。

6月現在の鳥取県の有効求

人倍率は0・62倍。郡内は、さらに低い0・39倍と1倍台を下回るとても厳しい社会情勢となっています。

自然豊かなところは  
自慢できることは  
自然豊かなところ

「オシドリが飛来する」「平和さ」「滝山公園のツツジ」「川がきれい」「ホタルがいる」など多くの若者が豊かな自然が自慢と答えました。

面積の9割を山に囲まれ、清らかな川が流れる日野町の豊かな自然を守り生かすことが必要です。

活力のあるまちに  
なっってほしい

「子どもから大人まで活力のある町」「人口が増え、発展してほしい」「仲良く助け合える町」「自然の活用」などの意見がありました。

そのほかには「このまま変わらないでほしい」との意見も多くありました。

また、日野町と江府町との合併について期待するものは「自然の保護」「いい名前をつけてほしい」「環境の改善」「さらなる発展を」との意見がありました。

やりたいことを  
見つけてがんばる

最後に、将来の抱負や夢などを聞きました。

「結婚しても働く」「後悔しない」「日野に生きる」「やりたいことを見つけ、それに向かってがんばりたい」などのほか「博物館学芸員」「公務員」「看護師」など具体的に将来なりたい職業も語ってくれました。

# 一定以上の土地売買は

## 契約後 2 週間以内に届け出を

国土利用計画法は、土地の投機的取り引きや地価の高騰を抑え、乱開発などを未然に防ぐために、一定以上の大規模な土地の取り引きには、届け出を義務づけています。

### 一定以上の土地の取り引きには届け出が必要です

一定面積以上の土地（市街化区域2,000平方メートル、市街化区域を除く都市計画区域5,000平方メートル、都市計画区域外の区域10,000平方メートル以上。日野町全域はこの区域）を越える土地の取り引きをした場合に届け出が義務づけられています。

売買、交換、営業譲渡、譲渡担保、代物弁済、共有持分の譲渡など（これらの取り引きの予約である場合も含みます）をする場合に届け出が必要になります。

また、個々の面積は小さくても、権利取得者（売買の場合であれば買主）が権利を取得する土地の合計が、一定以上となる場合（買いの一団）にも届け出が必要です。

### 契約締結後から 2 週間以内に届け出を

届け出は土地の取得者が、契約を締結した日から 2 週間以内に、土地のある市町村役場にしなければなりません。

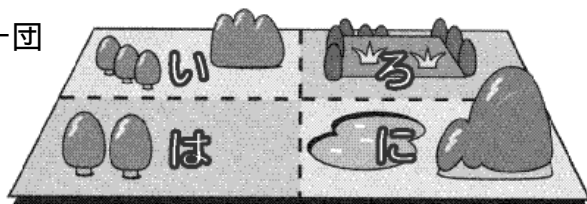
届出事項は、契約当事者の氏名・住所、契約締結年月日、土地の所在・面積、土地に関する権利種別・内容、土地の利用目的、土地に関する権利の対価の額などです。

提出する書類は、届出書、契約書の写しまたはこれに代わる書類、土地の位置がわかる地形図、土地およびその付近の状況がわかる図面、土地の形状を明らかにした図面などです。

### 届け出をしないと法律で罰せられます

土地取り引きに係る契約をした日から 2 週間以内に届け出をしなかったり、偽りの届け出をすると、6 か月以下の懲役または 100 万円以下の罰金に処せられることがあります。

買いの一団



売る人（土地）

甲さん — (い)

乙さん — (ろ)

丙さん — (は)

丁さん — (に)

買う人  
Aさん

(い+ろ+は+に) が取り引き規模（面積要件）の面積を越える場合は、届け出が必要です。

詳しくは役場企画振興課まで 電話 72 0332



夏を彩る ねう祭り・黒坂納涼まつり

# 夏祭り

## ねう祭り

夏を彩る恒例の「ねう祭り」が、7月19日、根雨の街で開かれました。夕やみせまるころから各自治会など12組が、日野町音頭や花笠音頭、傘踊りなどで参加し、祭りは最高潮に。

祭りのクライマックスは、色とりどりの花火が真夏の夜空に大輪の花を咲かせ、観衆から大きな歓声があがっていました。

また、祭りに先立ち役場駐車場では、町商工会青年部による「わくわく動物ランド」も行われ、子どもたちでにぎわいました。



をかためた踊りの団体が、続々と根雨の街を練り歩く



子どもたちも大人にまじって踊りに参加



威勢よい太鼓の音が鳴り響く



多くの屋台が並ぶ。道路は歩行者天国に



魚のつかみ取りなど催しがいっぱい





軽快なリズムの「祇園鳴子ばやし」



元気いっぱい祭りを盛り上げる若者たち



楽しい仮装と踊りで注目を浴びる



夕方から、色とりどりの浴衣に身



やぐらを囲み踊りの輪ができる



躍動的な踊りで魅了する米子よさこい踊れ連



子どもたちも日野町音頭の輪の中へ



色鮮やかな傘が美しい菅福傘踊り会

# 黒坂納涼まつり

8月16日、黒坂納涼まつりが、黒坂小学校校庭を会場に開かれ、楽しい催し物に、多くの人が暑さを吹き飛ばしました。今年も、震災以来3年ぶりに各こども会や自治会、菅福傘踊り会などが参加。お盆で里帰りした人などで会場はにぎわいました。



緑に囲まれた高原の鶴の池湖畔コースで500人が健脚を競う



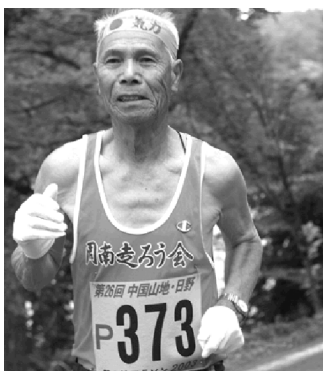
力を出し切り1位でゴール



ゴール前の直線はラストスパート



「さわやかな汗を流します」と家族4人で選手宣誓



力強い走りで前に進む



元気よくスタートする小学生たち



起伏の激しい6.9<sup>km</sup>コースには給水は欠かせない



# 鵜の池マラソン大会

## 新緑の湖畔で500人が健脚を競う

今年是有森さんと湖畔をいっしょに走る

7月27日、第26回中国山地日野・鵜の池マラソン大会が鵜の池湖畔で開かれました。大会には、県内はもとより群馬や京都、福岡などから約500人のランナーが参加しました。

今年は、招待選手にオリンピックメダリスト(1992年バルセロナオリンピック銀メダルなど)の有森裕子さんを迎え、新緑が美しい湖畔で心地よい汗を流しました。

選手は、年代・性別の17クラスに分かれ、2・3キロ、4・6キロ、6・9キロコースで健脚を競い合いました。

町内の入賞者を紹介

- 小学生女子(2・3キロ)
  - 3位 西村美砂さん(野田)
  - 6位 生田万結さん(下黒坂)
- 50歳代女子(2・3キロ)
  - 4位 高橋明美さん(板井原)
- 小学生男子(2・3キロ)
  - 3位 三島秀典さん(黒坂)
  - 4位 若杉晃希さん(根雨)

続けることの大切さ  
自分を信じること

鵜の池マラソン大会の前日



オリンピックメダリスト  
有森裕子さん

の7月26日、Do・スポーツ(森田勝彦会長)が、有森裕子さんの講演会「よるこびを力に」を町文化センターで開き、町内外から約200人が会場に詰めかけました。有森さんは「陸上競技との出会いを通して、続けることの大切さを学びました。夢をかなえるという強い気持ちを持ち、自分を信じるのが大切です」と話しました。

講演を聞いた参加者は「とてもいい話を聞き、元気が出ました。これからも自分自身に挑戦していきたいです」と話していました。Do・スポーツは、町のスポーツ振興を目指し、町内で活躍するスポーツ愛好者約40人で平成8年に結成。積極的に各競技の有名選手を招き、講演や実技指導を企画し、スポーツの普及・強化を図っています。



親子で仲良くいっしょにゴール



招待選手の有森裕子さんも子どもたちといっしょに参加



スタート前は緊張



ゴール前の声援が力を与える



選手に大好評の味噌汁サービス



奉納された指画「龍神之図」金持神社をイメージした金と銀の2体の竜

# 指画

手・指・爪などで描く

指画画家 濱田壽峰さん(根雨出身)が里帰り

筆を一切使わない

珍しい作品の指画

筆を一切使わず手・指・爪などで描く珍しい指画。このほど、指画画家の濱田壽峰さんが、出身である日野町(根雨)に里帰りしました。

濱田さんは、幼少のころから絵画が好きで、本格的に勉強したいと中国で書と画を学び、その後、指画と出会いました。

外国人として初めて中国指画協会に推薦登録され、近年は数多くの個展を開くなど世界中で注目を浴びています。

金持神社に

「龍神之図」を奉納

日野町で展覧会が開かれることにちなみ、8月17日、濱田壽峰さんが、金持神社に作品を奉納しました。

奉納された指画は、金持神社をイメージし、金と銀の竜が雷雲から姿を現した様子を



金持神社に作品を奉納する濱田さん

描いた「龍神之図」で、縦0・65メートル、横約2・5メートルの作品。

濱田さんは全国の神社などに竜を描いた作品を奉納しており、金持神社の2体の竜で25、26体目になります。

神事後には、神社内の壁に飾られました。

濱田さんは「皆さんに福が訪れるよう心を込めて描きました。絵が町の活性化に役立てばうれしいです」と話し、神社宮司の梅林譲さんは「皆さんに見ていただく機会を増やしていきたい。神社の宝として大切に保管します」と話していました。

## 高齢者の安否確認など具体化

郡内郵便局と県、日野郡4町が協定書を交わす

日野郡4町と郡内13郵便局、県日野総合事務所は、7月24日、町役場で「郡内の郵便局員が地域を巡回し、高齢者の安否確認や災害時の異常現象を関係機関に通報する」などの業務を具体化した協定書を締結しました。

このサービスは、4年前に県と郵便局が、相互に協力してさらなる住民サービス・福祉の向上を目指すために協定を締結しましたが、内容が具体的ではありませんでした。



協定書に調印する梅林町長ら

た。今回は、高齢者の情報提供・安否確認、避難所や土砂災害危険箇所図の掲示、災害時における異常現象の通報、ゴミの不法投棄の通報など5項目の細目を定め、協定書を交わしました。

協定式では、郡内郵便局代表の日南郵便局長、日野郡4町長、日野総合事務所長が調印。福田英寿日南郵便局長は、「今後も地域の一員として地域を支えていきたい」と話しました。

通報方法や連絡先などを明確にした細目協定書を交わしたのは、県内でも初めてのことで、8月1日から実施されています。

### 催しの案内

第2回郷里がえり展

8月21日(木)～24日(日)山村開発センター  
午前9時30分～午後5時 最終日は午後3時まで  
指画の体験教室

8月22日(金)～23日(土)山村開発センター  
午前10時～午前11時

石川光男さん講演会

「個性を生かす指画・個性を生かす町おこし」

8月23日(土)町文化センター  
午後1時30分～午後3時

# 秋の農作業標準賃金

農業委員会では、平成 15 年度秋の農作業標準賃金を決定しました。

ほ場の異なる場合は、両者間で協議してください。

作 業 名		標 準 賃 金	備 考
稲刈り・一般作業		7,000 円 ~ 8,000 円	1 日 8 時間労働 賄いなし
機 械	コンバイン	14,000 円	10 アールあたり 結束ひもは含まない
	バインダー	7,500 円	10 アールあたり 結束ひもを含む
	ハーベスタ	7,500 円	10 アールあたり
もみの乾燥（生もみ）		700 円	乾燥もみ 30 キログラム 1 袋あたり
もみの乾燥 （ハデかけ・もみ）		300 円	乾燥もみ 30 キログラム 1 袋あたり
もみすり（据付機）		280 円	30 キログラム 1 袋あたり

もみの乾燥は、水分量により協議してください。

お問い合わせ先 農業委員会事務局 電話 72-2103

## 特別医療費の

## 助成制度が変わります

10月1日から、入院時の「食事療養費の本人負担分」の支払いが必要に。平成16年4月1日から、要支援・要介護認定の方は「特別医療の本人負担」の支払いが必要になります。

10月1日から、入院時の「食事療養費の本人負担分」の支払いが必要になります。

ただし、住民税非課税世帯などの一定要件に該当し「標準負担額減額認定証」または「限度適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方は、支払いの必要はありません。

「標準負担額減額認定証」または、限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付申請窓口は、次のとおりです。

会社などが加入している健康保険の方は、社会保険事務所または健康保険組合、国民健康保険・老人保健・介護保険などは役場。国家公務員等共済の方は、保険者に申請してください。

また、平成16年4月1日から、要支援・要介護の認定を受けている方は「特別医療費の本人負担分」の支払いが必要になります。

お問い合わせ先

役場健康福祉課（電話72 0334）



# みんなのひろば

## 涼しい夏を過ごしてほしい

### 町建設協会がボランティアで草刈り作業

地域に貢献しようと、7月17日、町建設協会（田中新市会長）が、ボランティアで板井原川や鵜の池湖畔の草刈りをしました。

今年、町内6社から24人

が参加。おしどり荘から祇園橋まで約500㍍の両岸などの雑草をいねいに刈りました。また、この日は、鵜の池マラソン大会のコース整備にも12人が参加し、汗を流しました。



早朝からいねいに川岸の草を刈る会員ら

田中会長は「景観のすばらしい水辺で涼しい夏を過ごしてもらおうと心を込めて作業しました。これからも続け、地域に貢献していきたいです」と話していました。同協会は、町内の建設業6社の集まりで、地域の美化に役立つと、平成8年から、毎年この時期に草刈りなどのボランティア活動をしています。

## アユは

### スイカの香り

#### 保育所でアユつかみ



アユをつかみ大喜びの園児たち

魚とのふれあいを通して川に親んでもらおうと、7月29日、アユつかみが、町内保育所で開かれました。

根雨保育所では、根雨水産振興会（生田正明会長）が350匹のアユをプールに放し、根雨・日野保育所の園児がいつしよになり、元気なアユを夢中で追いかけてました。

また、黒坂保育所では、黒坂水産振興組合（頭本尚憲組合長）が企画。園児たちは、アユつかみを楽しみました。園児たちは「アユは、ツルツルしてスイカの香りがした」楽しかった。また「やうたい」などと話していました。

## 新鮮な野菜や特産品など大好評

### 日野郡内の朝市などが合同で出店」とれとれ朝市・ひの

郡内の地産地消や観光を宣伝しようと、7月21日、日野郡の合同朝市「とれとれ朝市・ひの」が、JR米子駅前のだんだん広場（米子市）で開かれました。

この朝市は、日野郡内の朝市など7団体が合同で出店。郡広域観光推進協議会（勝瀬節雄会長）が初めて企画しました。

開会式では、勝瀬会長が

「この機会を縁に、日野郡に来ていただきたい。そして、歴史や文化も合わせて見てほしい」と話しました。

町内からは、ニッコニコ市（JA女性部）やまちづくり日野、日野高校チャレンジショップが出店し、トマトやナスなどの新鮮な野菜や花の苗、金持酒などの特産品を販売しました。

午前8時半の開店と同時に

多くの人々が会場を訪れ、両手に袋を抱えながら商品を買っていき求めています。

今回、出店したニッコニコ市の遠藤初枝さん（榎市）は「日野町の新鮮な野菜を町外の人にも味わってほしい。これから積極的に情報発信していきたい」と抱負を話していました。



朝市テントには開店と同時に多くの買い物客が訪れる

## 体にいいと好評の温泉の湯を販売

### 単純放射能温泉「奥日野・薬師秘湯」

昨年、福長地区に進出した株式会社フレクシオンフレム（安部達範会長）が、工場敷地内から出た温泉の湯を7月19日から飲料用・入浴用として販売開始しました。

湯は、関金、三朝温泉と同質の単純放射能温泉で、無味無臭。「奥日野・薬師秘湯」と名づけ、同社敷地内に配湯所を造り1瓶50円のセルフ方式で売っています。

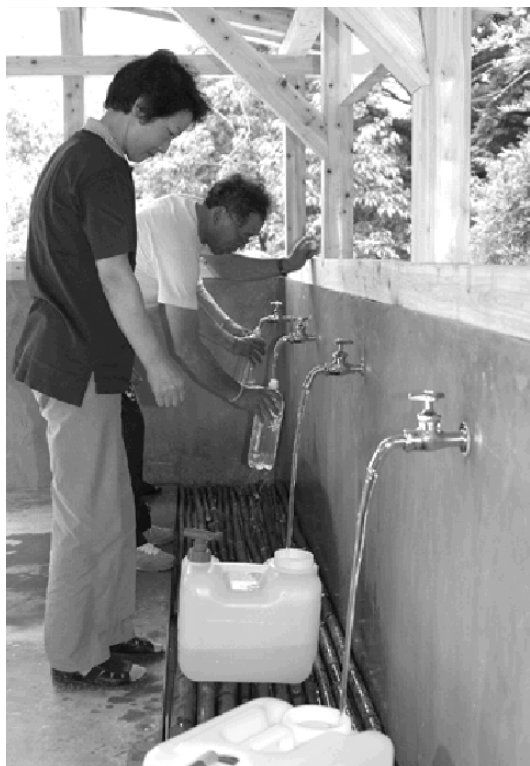
以前から「アレルギーが治った」など健康にいいと湯をくみに来る人があるため販売することになりました。

源泉を所有する阿部達範さんは、「この水は弱アルカリ性

で、体質改善に役立ちます。ぜひ、飲んで健康になってほしい」と話していました。

単純放射能温泉は、熱水が地下の岩石に含まれる放射物質（ラドン）を溶かし出したもので、古くから痛風、神経痛などに効くと言われています。配湯所は午前7時から午後7時まで営業をしています。

温泉は、一昨年、工場建設のためボーリング中にゆう出（1分間に60℃）わき出てくるため、研修所に露天風呂（紅葉温泉）を建設。近所の住民や高齢者などに利用してもらっています。



配湯所を造り温泉の湯を販売

## 自分たちの地域は自分たちで

### 野田自治会が救急訓練

自主防災の意識を高めようと、7月20日、野田自治会山脇勉自治会長）は、野田公会堂で救急訓練をしました。

訓練には、20人の地域住民が参加。同地区の池田正直さんが指導のもと、始めに災害時の避難方法や注意点について知識を深め、その後は、実際に三角きんを使った出血止めなどの救急訓練をしました。

参加者は「天ぷら油の火災対処方法は」などと積極的に質問をしていました。

山脇自治会長は「訓練により、地域の防災力やきずなが深まれば」と話していました。



いざという時のため救急法の知識を深める

## 水面をアメンボのようにスイスイと

### 「川から見る景色は最高」カヌー教室

カヌー体験を通して川に親しんでもらおうと、8月2日、日野川カヌースクールが、安原力ヌーの里で開かれました。

教室には、子どもから大人まで約20人が参加。パドル操作などの基本動作を学び、さっそく川の中へ。初めは、思うように進めなかった参加者もコツをつかむと、スイスイと水面を楽しそうに進んでいました。



カヌーで水面を自在に進む

## 見たことのないヨーヨーにびっくり

### おもちゃ作家の若林さんを招き「おもちゃづくり教室」

一風変わったヨーヨーを作ろうと「おもちゃづくり教室」が、8月3日、山村開発センターで開かれました。

ヨーヨーは、講師のおも

ちゃ作家、若林孝典さん（岡山県）が「自分で作る喜びを感じてほしい」と改良したもので、上につるし、ひもを引くと回転しながら上下する仕組み。このヨーヨーづくりに、25人が挑戦しました。

参加者は、糸ノコで木を思い思いの形に切り抜き、色をぬって組み立てました。

参加した富田麻璃亜さん（本郷）は「星型に木を切り、回るとききれいになるように色を工夫しました」と作品を満足そうに見つめていました。



ヨーヨーをすてきな色に塗り上げる



# 文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時  
土・日 午前9時～午後5時

## 図書館情報

カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	②	3	4	5	6
7	8	⑨	10	11	12	13
14	⑮	⑯	17	18	19	20
21	22	⑳	㉑	25	26	27
28	㉒	㉓	㉔			

○印が休館日です

おしらせ

図書館おはなし会

8月23日(土)

午前11時～ 図書館

木のおもちゃづくり

9月7日(日)

午前10時～ 図書館車庫

展示コーナー

懐かしさと涼を呼ぶ  
手づくりうちわ展

8月31日(日)まで

幼い時の浴衣など捨てがたい布を再利用。だれにでも簡単に作れる布うちわを紹介しています。

インターネットで蔵書検索をどうぞ

http://aspcenter.infosakyu.ne.jp/llis/top.htm



元気な歌声がステージに響く

「だめじゃない、違うでしょ」指導者の厳しい声が、ステージに響きます。昨年開かれた国民文化祭・日野町わらべまつりで、古くから伝わるカワコ岩のカップ伝説をもとにしたミュージカル

本番に向け猛練習が続く

10月19日(日)上演

# 星のおじいさま ありがとう

ル「光明寺の河童」は大好評。今年は、昔話やおシドリを題材にした創作ミュージカル「星のおじいさま・ありがとう」を上演します。

による衣装や大道具・小道具づくりを始めています。縫い物や大作業が得意な方、スタッフとして協力してもらえる方を募集しています。

### あらすじ

クリスマスの夜、ピアニストの家に「星のおじいさま」が遊びに来ます。町の人たちも、おじいさまとの出会いを楽しみにしています。

星のおじいさまは、日野町のオシドリたちの物語を話し、ピアニストが、すてきなピアノを奏でる楽しい時間ー。

日本昔話でおなじみの常田富士男さんの「星のおじいさま」、ピアニストの渡辺朋子さんといっしょに歌って、踊って、演じる、みんなで創るミュージカルです。

## 文化センターの催し

人権啓発映画上映会「GO」

とき 9月17日(水) 午後2時～

内容 映画「GO」窪塚洋介主演

入場料 無料

「流れ星をさがせ」ライブ in ひの

とき 9月23日(火・祝) 午後1時～

内容 アマチュア音楽家のオリジナルコンサート

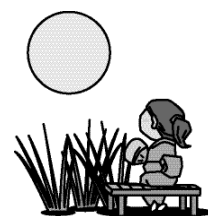
入場料 無料

主催 同実行委員会



# 9 月 ぐらしのカレンダー

SEPTEMBER (長月)



1 月	町県民税 2 期分納期限・国民健康保険 2 期分納期限・介護保険料 2 期分納期限 ----- 不燃・資源ゴミの収集日 (黒坂・菅福地区) ----- 健康相談 町公民館 午前 9 時～午前 10 時
2 火	乳児健診 開発センター 受付 午後 1 時 30 分～午後 2 時
3 水	ペットボトルの収集日 (1・2・3 班) ----- 歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付 午前 9 時 30 分～45 分まで 午後 1 時～15 分まで ----- 成分献血 役場前駐車場 午前 9 時～午後 4 時
4 木	年金相談 開発センター 午前 10 時～午後 2 時
5 金	人権相談 開発センター 午後 1 時～午後 3 時 ----- 心配ごと相談・高齢者生活相談 開発センター 老人福祉センター 午前 9 時～午後 3 時 ----- 乳・甲状腺がん、子宮がん検診 開発センター 受付 午後 1 時～午後 2 時
6 土	日野川カヌースクール 安原カヌーの里 午前 9 時～正午
7 日	
8 月	不燃・資源ゴミの収集日 (根雨・日野地区) ----- 乳・甲状腺がん、子宮がん検診 開発センター 受付 午後 1 時～午後 2 時
9 火	3 歳児健診 開発センター 受付 午後 1 時 15 分～30 分
10 水	ペットボトルの収集日 (4・5・6 班) ----- すくすく親子教室 開発センター 午前 9 時 30 分～11 時 内容=うどん作り
11 木	乳・甲状腺がん、子宮がん検診 開発センター 受付 午後 1 時～午後 2 時 ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所
12 金	乳・甲状腺がん、子宮がん検診 開発センター 受付 午後 1 時～午後 2 時
13 土	

14 日	開発センター休館日
15 月	可燃ゴミの収集は休みます (敬老の日)
16 火	古紙の収集日 (黒坂・菅福地区) ----- ポリオ予防接種 開発センター 受付 午後 1 時 15 分～30 分
17 水	ペットボトルの収集日 (7・8・9 班)
18 木	胃がん・大腸がん検診 開発センター
19 金	胃がん・大腸がん検診 開発センター
20 土	行政相談 開発センター 午前 9 時～正午 ----- 日野川カヌースクール 安原カヌーの里 午前 9 時～正午
21 日	
22 月	健康相談 開発センター 午前 9 時～午前 10 時
23 火	可燃ゴミの収集は休みます (秋分の日)
24 水	
25 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
26 金	胃がん・大腸がん検診 開発センター
27 土	
28 日	町民体育祭 (根雨・黒坂会場) ----- 開発センター休館日
29 月	古紙の収集日 (根雨・日野地区)
30 火	国民健康保険税 3 期分納期限 ----- 介護保険料 3 期分納期限 ----- 胃がん・大腸がん検診 開発センター

直通電話	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332
	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102
	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555
	根雨保育所	72 0238	日野保育所	72 1133

住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
公民館	74 0212	下履集会所	72 1191
黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331

# 早朝ウォーキングでさわやかな汗

自然に親しみながら楽しく歩く「ひの歩け歩け大会」

自然の中を歩き、楽しみながら体力づくりをしようとして、7月22日、ひの歩け歩け大会を、黒坂カワコふれあい公園で開きました。

参加者50人は、自分の体力や歩くペースに合わせて、黒坂カワコ公園から小河内地区で折り返す3・7キロコースとさらに下黒坂地区を通る6・5キロコースに分かれて歩きました。

ゴール後には、町生活改善推進協議会による野菜などが入った「冷し汁」などが振る舞われました。

参加した石田美喜恵さん(中菅)は「さわやかな汗を流し、気持ちがいいです。毎日、近所を歩いて運動をしています。ウォーキングをやりだしてから病気に也不再いせん。適度



自分のペースでしっかりと歩く

# 給食おいしいね

保護者ら学校給食を試食



おいしいと好評の給食

子どもたちが食べている学校給食に関心を持ってもらうと、7月23日、町学校給食試食会が山村開発センターで開かれました。

この日は、カレーピラフやハンバーグなど5品がメニューで、保護者や関係者ら70人が給食を味わいました。食材は主に県内産を使用。ハンバーグは、アジヤイワシの魚の身をすり潰したもので、献立を考える授業の中で、小学

生が実際に考案し、昨年からは給食に出されています。試食会に参加した音田四郎さん(根雨)は「孫がいるので給食に興味があり、初めて試食会に参加しました。給食は栄養バランスが良く味付けもいいです。できれば、ほかの食材も町内で取れたものを使ってほしいです」と話していました。

町学校給食会では、昨年4月から「地元で作られた米を給食に出し、郷土愛を育もう」と町内産米、「コシヒカリ」を100%使用しています。

# オシドリ

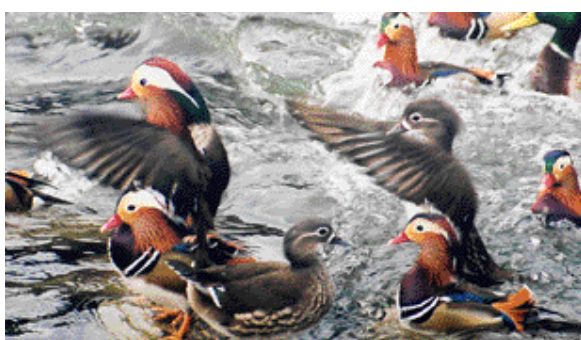
## オシドリの豆知識

この夏も十数羽の残留組をエサ場で観察しました。でも梅雨が長く増水していたためヒナを確認していません。ぜひヒナ情報をお寄せください。

オシドリ豆知識その1

カモ目カモ科。漢字名は鴛鴦。英名はマンドリンダッグ。体長約40センチ。翼を広げると70センチ。カモ類の中では小型。オスは換羽します。

連絡先 オシドリグループ事務局 森田(72-0271)



オシドリダンスのはじまり、はじまり

# わたしの町

7月31日現在

(前月比)

人口	4,461人 (-4)
男性	2,109人 (+3)
女性	2,352人 (-7)
世帯数	1,570戸 (+5)

# 赤ちゃん誕生

(7月11日~8月5日)

おめでとございませう

(出生児)	(保護者)	(性別)	(住所)
7月			
山田 楓夏	智義・佳美	女の子	本郷
竹永 翔海	正俊・理恵	男の子	下榎
百田 直輝	栄司・操	男の子	黒坂
仲曾 千夏	友和・恵子	女の子	貝原

# おくやみ

(7月11日~8月5日)

ご冥福をお祈りします

(氏名)	(年齢)	(住所)
7月		
松本さだよ	89歳	本郷
久城 壽男	79歳	黒坂

# 編集後記

夏と言えば花火。撮影するのは難しいと聞き、カメラの勉強からスタート。シャッタースピードはbuiにセット? 初めて見る文字ばかり。何とか理解し、neau祭りの取材へ。一人さびしく川原に陣取り、蚊と格闘しながらの撮影に「ボツ」にならないよう編集後記で掲載しよう」と決めた。写真はその時の花火です。

